



イメージキャラクター  
ふくにゃん

ふれあいネットワーク  
曾於市社会福祉協議会情報紙

第93号

令和6年11月15日



手と手

やさしさ  
100パーセント



今号の表紙絵 「たすけあい」

第20回 曾於市社会福祉大会福祉ポスター「小学生高学年の部」  
最優秀賞作品

曾於市立深川小学校 5年

村上 むらかみ

紡葵 つむぎ  
さんの作品



人はみんな助け合って幸せに暮らしていけると思います。  
みんなで支え合って暮らせることを願ってかきました。

理念 人と人とのつながりを大切に地域と共に歩む

発行/社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会 曾於市財部町南俣 504 番地 1(財部保健福祉センター内)

TEL : 0986-72-0460 ・ 0480 FAX : 0986-72-0425

# 第20回 曾於市

～思いに寄り添い みんな



# 社会福祉大会

で支え合う地域づくり～

令和6年8月24日(土)末吉総合センターで、第20回曾於市社会福祉大会を開催しました。曾於市の福祉のまちづくりの推進を目的に、多年にわたり社会福祉の向上に尽力された方々の功績をたたえるところにも、地域住民や福祉関係者一人ひとりが「思いに寄り添い みんなで支え合う地域づくり」について共に考える機会となりました。

大会を開催するにあたり、バザー、ブース、ボランティア等、大会運営のご支援に對しまして深く感謝申し上げます。

曾於市社会福祉協議会は、今後も曾於市の住民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して生活ができるまちの実現に向けて取り組んでまいります。



- ①開催趣旨朗読 ②社協会長挨拶 ③市長挨拶 ④⑤来賓祝辞 ⑥被表彰者謝辞 ⑦長寿クラブ会長表彰 ⑧⑨⑩最優秀福祉作文・ポスター表彰及び作文発表 ⑪司会進行 ⑫式典の様子 ⑬受付の様子 ⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳バザー・ブース会場の様子 ㉑募金活動 ㉒学生ボランティア紹介 ㉓社協副会長閉会挨拶

# 曾於市社会福祉協議会会長・曾於市長寿クラブ連合会会長表彰

永年にわたり地域福祉活動に功績のあった方々への社会福祉協議会会長表彰、福祉団体長表彰、福祉作文及びポスター表彰が行われました。受賞者を代表して、野口たづ子様が謝辞を述べられました。被表彰者の方々をご紹介します。(敬称略)

## 1 社会福祉法人曾於市社会福祉協議会会長表彰

### ○表彰の部

#### 民生委員・児童委員 1名

民生委員・児童委員として、長年その職務に従事し、功績があった方  
田中 裕文

#### 社会福祉施設の長及び職員並びに相談員等 9名

社会福祉施設の長及び職員並びに相談員等として、長年在職され、功績があった方  
救仁郷 里恵      山下 明美      中武 祥子      永山 敏子      年神 健一  
池之上 幸夫      戸高 七夕子      海田 彰一郎      中崎 明弥

#### 社会福祉団体等の役職員 5名

社会福祉団体等の役職員として、長年在職され、功績があった方  
古川 眞一      林 勝義      永山 陽平      出水 勝吾      岡原 奈緒美

#### 在宅福祉アドバイザー 9名

在宅福祉アドバイザーとして、地域の中で援護を必要とする方々への声かけや見守りを行い、その活動が他の模範となる方

山下 和子      上蘭 三郎      鎌田 雪子      山下 マリ子      中村 春子  
伊集院 晶子      西川 清子      津江 チエ子      野口 たづ子

#### 地域篤行者 1名

家庭及び地域福祉社会のなかで、その篤行が顕著であり、特に市民の模範となるにふさわしい方  
黒木 ハル子

### ○感謝の部

#### 献身的介護者 1名

長年にわたり、献身的に介護をされている方  
宮田 千早子

※福祉作文及びポスター

被表彰者は前号参照

ホームページに掲載しております。

## 2 福祉団体長表彰

### 曾於市長寿クラブ連合会会長表彰

長年にわたり、役員として貢献された方  
白鳥 明信      重田 正広      増田 悟

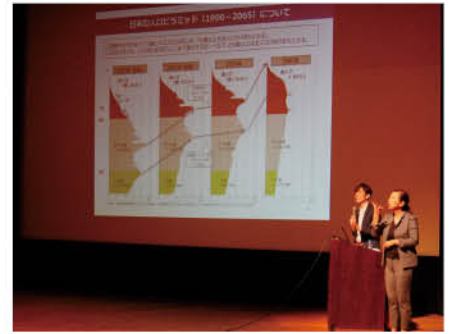
## 講演 つながり・支えあいのある地域共生社会の実現を目指して

大会では『つながり・支えあいのある地域共生社会の実現を目指して』と題して同志社大学社会学部教授 永田祐 氏に講演をいただきました。

曾於市は鹿児島県内の全43市町村のうち、2050年までの30年間で若年女性の人口が50%以上減ると推計された消滅可能性自治体となっており、社会減対策が極めて必要とされています。

講演では、今後、日本の総人口が減少に転じていくなか高齢者（特に75歳以上）の占める割合は増加していくことに触れ、今後は世帯の規模が縮小し家族に頼れない人が増加していく推移を分かりやすい図とともに学ぶことができました。こういった現象が進むと高齢世代の地域のつながりは希薄化する傾向にあり、社会的な孤立が深刻化していくことを改めて認識しました。このような地域社会の現状において、私たちは、これまでの常識にとらわれず、自由な発想で地域社会の未来を考えていくことが必要とされています。

支え手側と受け手側に分かれるのではなく、住民それぞれが役割を持ち支えあいながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティづくりが必要だとお話があり、共生できる地域をつくっていくことの大切さを改めて感じることができました。



## 地域福祉活動報告 パネルディスカッション

講演後は、コーディネーターに鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部長 古市智子氏、コメンテーターに講演に続いて 永田祐 教授を迎え、地域福祉活動者による地域福祉活動報告及びパネルディスカッションが行われました。

ほっとサービス協力会員の小幡留美子氏からは、「自分にできることがあるなら」という役割があることの喜びの思いを持って活動をしていること、サービスを重ねることにより地域住民同士としての信頼関係が築かれていき、支援を通じて見守りや必要なつなぎ等を行うことができていることなどについて、財部校区北俣社協会長の徳丸宏幸氏からは、北俣社協の活動についてや現在取り組んでいる地域の福祉の拠点づくりを通じた住民のつながりづくりから助け合いの地域づくりを推進する展望などについて、本会職員である曾於市地域包括支援センターの永山陽平氏、企画運営委員の中留いち子氏からは、脳血管疾患による後遺症に悩んでいる方の当事者の会である「ひだまりカフェ」について、当事者の声から始まったきっかけや活動内容、地域生活を送る中で、当事者同士で思いを語り合い、共感し合いながら地域参加ができる場の大切さについて、そして、当事者が声を発信することで支え手としての活動ができることなどについて発表がありました。その後は、コーディネーターや助言者を交えて意見交換を行いました。

一人ひとりが地域でその人らしく共に暮らしていくために、地域でつながることや居場所と役割があること、その中で日常的に助け合える関係をつくっていくことの大切さについて深めることができました。



# 令和6年度 福祉ポスター 優秀賞受賞者紹介

今年度も、たくさんの作文、ポスターの応募をいただきありがとうございました。  
優秀賞を受賞された作品と児童のみなさんを紹介します。

月野  
小学校2年  
井下  
琉心  
さん



作品名：みんななかま



作品名：ひとり ひとり たいせつ



大隅北  
小学校1年  
本鍋  
椿颯  
さん



諏訪小学校2年

よしのその ゆうき  
吉ノ園 友樹 さん



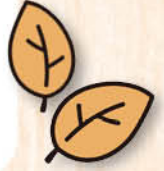
作品名：やさしい気持ち



作品名：思いやり



大隅北小学校5年  
伊地知 晟矢 さん



大隅北小学校6年  
豊留 颯摩 さん



作品名：できることをさがそう



作品名：笑顔の町

諏訪小学校6年

さかもと ゆあ  
坂元 結愛 さん



## 第20回 曾於市社会福祉大会 福祉作文 2024

令和6年度福祉作文の優秀賞作品はホームページに掲載しております。  
心温まる子どもたちの作文をQRコードからご覧ください。



# SUMMER ボランティア 体験活動 2024

中学生と高校生を対象としたボランティア体験活動を実施しました。

市内の福祉施設のご協力をいただき、オリエンテーション、施設でのボランティア活動、ふりかえりを通して、人とふれあう喜びを感じ、自分と向き合い新たな自分の発見、福祉への関心や将来への意欲を高めるなど、参加いただいた生徒の皆さんにとって様々な機会となったようです。

今回は、11名の参加の申し込みをいただきましたが、感染症の影響による活動中止で、8名の活動の終了となりました。

参加いただいた皆様、ご協力をいただいた施設の皆様ありがとうございました。

## ○ご協力いただいた施設

地域密着型特別養護老人ホーム末吉まごころ園

グループホーム曾於

グループホームやわら

グループホームかな

グループホームふれあい館

デイサービスセンターさくらの里

## ＼活動に参加した生徒の声／

- ・施設は、自宅での暮らしに近い環境でその人らしさを尊重されている。
- ・利用者の方のできることに応じて自立した生活を送れるように支援している。
- ・緊張があったが、高齢者の方から優しく話しかけてくれてうれしかった。
- ・職員の方が笑顔で楽しそうに話しかける様子が見られて、とてもいい職業だと感じた。
- ・帰り際に涙を流しながら手を振っていただいて、一緒に話をしてよかったなと感じた。
- ・改めて介護の仕事にむけて頑張りたいと思った。

## ①オリエンテーション(8月5日)

認知症サポーター養成講座を受け、活動に入るにあたり、目標を立て、活動を受け入れていただく施設とのオリエンテーションを行いました。



## ②施設での活動



## ③ふりかえりの会(8月25日)

活動の感想や目標の達成度、自分への気づき、活動を通して考えた「これからの私」について発表をしながら、ふりかえりをしました。施設の皆様も相互に意見交換を行いました。



- ・自分からコミュニケーションをとることが苦手で今回もチャレンジした。これからも会話や相手の気持ちを汲み取るなどのコミュニケーションを円滑にとれるように意識していきたい。
- ・高齢者の方と話すのが苦手だったけど、この2日間で話すと楽しいと思った。地域に住んでいる高齢者とも話していきたい。
- ・寝たきりの人や話すことのできない人もいたが、話しかけると笑顔を返してくれたので楽しく活動できた。



## 地域でつながり続け、生き生きとした生活を

令和6年度ふれあい・いきいきサロン・ミニデイ連絡会  
令和6年9月12日 そお生きいき健康センター

今回は、「フレイル予防」をテーマに、サロンやミニデイの関係者で「住民が顔を合わせてつながり、役割を持って活動できる場の大切さ、そのつながりから助け合っていくこと」について考え、共有する機会として開催しました。

本会職員である曾於市地域包括支援センターの戸越保健師より、年を重ねると体力・気力の余力が低下するため、健康寿命を延ばすために、「運動」、「栄養・口腔」、「社会参加」の3つの柱を意識すること、その中でも、社会参加において、サロンやミニデイはとても大きな活動であり、そのつながりからお互いに助けられ上手を目指しましょうと講話がありました。

その後は、グループで普段の活動ややりがい、悩んでいることなどの意見交換を行いました。自分達も活動することで元気をもらえる、継続するために心がけていることや、飲みニケーションも行っているなど活発な意見がありあっという間に時間が過ぎました。住み慣れた地域に集いの場があり、居場所があることで、人との関わりを持ちながら生きいきと生活できます。これからも通いの場づくりを推進していきます。



## ち い き の う ご き

### 財部町中谷校区に移動販売車がきました！

中谷小学校では、昨年度、福祉教育の一環でオレンジキッズプロジェクト（認知症キッズサポーター養成講座）を行いました。

これを機に、地域に関心を持ち「こんな中谷地区にしたい」と題して、地域について調べる取り組みをしました。

子どもたちが高齢者と話をする中で、地域や生活の変化に伴い、高齢者が普段の買い物に困っていることがわかりました。そこで、自分たちにできることはないかと考えた一つに「中谷に移動販売車を呼びたい」がありました。

子どもたちの意見を聞いてくださった地域の方の協力をいただき、学校にJA そお鹿児島の移動販売車「わんぱく そお太くん号」が来てくださり、10月から中谷が新たに巡回コースに加わることとなりました。小学生の「数年前は中谷にも来ていた移動販売車をもう一度呼ぶことができないか。」という願いに始まったものです。





## ひだまりカフェ「夏フェア」開催!

令和6年8月21日、大隅シオン舎に於いてひだまりカフェ（脳血管疾患当事者の会）初の「夏フェア」を開催しました。

参加者はひだまりメンバーに加え、大隅シオン舎の皆さん、末吉デイサービスセンターや曾於市社会福祉協議会通所介護事業所の皆さん、地域の方々など多くの方にご来場いただきました。

昭南病院の理学療法士にご協力いただき軽く運動をした後は、かき氷を食べながら大隅シオン舎の作業体験、ストーンアートに挑戦したり、カクイックスウィング曾於サテライトの福祉用具コーナーや大隅シオン舎の販売コーナーで買い物も楽しみました。そして最後はSYBダンスカンパニーの皆さんによるダンスで大盛り上がり！元気をもらいました。

参加された方からは、「普段できない体験ができて良かった。」「最後のダンスをみんなでできて楽しかった。」等の声をいただきました。

ひだまりカフェはこれからもメンバーの「やってみたい！」の声を大切に色々なことに挑戦していきたいと思えます。

興味ある方、参加してみたい方はご連絡ください。

曾於市地域包括支援センター

▶連絡先：0986-76-8824（永山・坂元・上岡）

## 無料法律相談開設について

### ひまわりの会による無料法律相談

○相談料：**無料**（相談者からはいただいておりません）

※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**

○お問合せ先：

ひまわりの会 事務局 代表弁護士 山口 政幸

鹿児島市山下町12番17号2階

TEL：099-227-0041（受付：平日9時～17時）

### ○相談日時及び会場

| 会場           | 相談日時                          |
|--------------|-------------------------------|
| 財部保健福祉センター   | <b>1月17日</b><br>(13時から16時まで)  |
| そお生きいき健康センター | <b>11月21日</b><br>(13時から16時まで) |
| 大隅弥五郎伝説の里    | <b>12月19日</b><br>(13時から16時まで) |

### 藤尾法律事務所による無料法律相談

○相談料：**無料**（相談者からはいただいておりません）

※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**

○お問合せ先：

弁護士法人 大隅広域ディフェンダー

藤尾法律事務所 末吉支所

曾於市末吉町本町1-4-5 TEL：0986-51-9830

### ○相談日時及び会場

| 会場         | 相談日時                                       |
|------------|--|
| 財部保健福祉センター | <b>12月10日、1月7日</b><br>(13時から15時まで)         |
| 大隅弥五郎伝説の里  | <b>11月19日、12月17日、1月14日</b><br>(18時から20時まで) |

# - 曾於市共同募金委員会より -

TEL:0986-172-0460 FAX:0986-172-0425

## 10月から 赤い羽根共同募金運動が はじまっています!

共同募金ってなに?

共同募金は、赤い羽根をシンボルに、「赤い羽根共同募金」として、毎年10月1日から翌年3月31日の期間、全国で募金運動が行われています。

共同募金は、制度や行政の手が届かない「地域で困っていること」のために使われます。曾於市で募金をすると、曾於市の「困っていること」のために使われます。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体の活動費として助成されています。

皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

共同募金は  
何に使われて  
いるの?

寄付は現金のみ  
ですか?

「PayPay」「クレジットカード」等で赤い羽根共同募金へご寄付いただけます。右のQRコードからご寄付できます。



# たくさんの善意に感謝いたします

曾於市社会福祉協議会では、ご寄付を曾於市民の皆様の地域福祉向上のために大切にに使わせていただきます。掲載につきましては、ご本人の承諾を得てご希望どおりに掲載しております。（R6.8.1～R6.10.31 受付分）

## 香典返し寄付金

### 財部地区

和田 美喜夫様／宇都  
宮原 ミツ子様／畠中  
永吉 裕次郎様／新田  
田ノ上 サエ子様／本切通  
笠野 広美様／田平  
安樂 龍一様／横馬場  
前村 秋子様／川内  
豊田 次夫様／七村  
石神 夏津良様／溝ノ口

### 末吉地区

大野 茂弘様／有持下  
三枝 秀一様／三枝前  
郷田 光子様／新住吉  
富吉 博人様／湯之尻  
光行 純市様／蓑原  
大窪 栄与様／中原  
桐野 ナヨ様／東法楽寺  
前原 秀彦様／上内門  
宮路 生大子様／橋野後  
新留 カズ子様／徳留  
松岡 光政様／上柳井谷  
飯永 弘志様／飯塚

末原 テル子様／深川東  
池之原 リツ様／岩南  
有川 正人様／蔵之町  
匿名／高岡上  
匿名

### 大隅地区

川崎 三弘様／飯田  
朝倉 謙二様／梶ヶ野  
亀石 露香様／東桜ヶ丘  
牧之瀬 クミ子様／東桜ヶ丘  
岩切 直志様／上馬場  
萩元 幸子様  
祝井谷 則昭様／中野  
園田 哲夫様／中園  
牧之瀬 一久様／久木山  
太良木 ミヨ子様  
吉井 正文様／久保崎  
牧之瀬 勤様／新城

重村 芳文様／清津野

## 一般寄付金品

### 末吉地区

大園 征郎様／中高松／2,000円  
竹内 昭様／掛上／3,000円  
竹内 政子様／掛上／3,000円

## お詫び

「手と手」第92号6ページ  
白坂 愛瑠さんの最優秀賞福  
祉作文において誤りがござ  
いました。  
誤「みんなあのめあて」  
正「みんなのめあて」  
心よりお詫び申し上げます。

曾於市社会福祉協議会は税額控除対象法人の証明を受けています。

本会への寄付（一般寄付、香典返し等）は、現行の所得控除制度に加え、税額控除制度との選択が可能です。税額控除では、税率に関係なく税額から税額控除額を直接差し引きます。小口の寄付にも減税効果が大きく、所得控除と比較してほとんどの場合、税額控除の方が減税効果が大きくなります。

## 社協公式 SNS・ホームページはこちら

＼地域福祉の様々な情報をお届けしています／



ホームページ



公式 LINE



Instagram

## 曾於市社協情報紙へのご意見はこちらから



## 編集後記

早いもので今年も残り1カ月半程となりました。長年憧れていた曾於市社会福祉協議会へ入職をし半年が経ちました。まだまだやりたい事や学びたい事が沢山あります。先日、地域の方々と一緒に赤い羽根共同募金の街頭募金活動を行いました。共同募金は、自分たちが住む町の困っている人たちのために使われる募金です。子どもから高齢者、障がいをお持ちの方々とふれあい、会話をする中で、笑顔で「お互い様だから」という声と併せて、たくさんのご協力をいただきました。私達は寄付者の方々の想いを胸に、地域の皆様に寄り添い、どんな方も地域の中で安心して暮らし続けられるようなまちづくりを進めていかなければならないことを改めて強く感じました。

A・A



この情報紙は、地域住民の皆様からの赤い羽根共同募金を財源に発行しています。